



サルビア

令和4年12月 回覧

令和4年度人権集中学習

12月2日（金）～12月9日（金）の一週間は人権集中学習を行います。人権尊重の精神を理解し、育んでいくきっかけにしたいと考え、学校全体で学んでいきます。校長講話では、金子みすゞさんの詩を取り上げて、次のような話をしました。

12月になりました。人権週間です。赤堀東小がやさしさあふれる学校になるように、先生や友達といっしょに思いやりやさしさについて考える、勉強する一週間です。みなさんは山に登ったとき、おもわず口から出る言葉はないですか？「ヤッホー」山からもかえってきますね。「ヤッホー」って。それを「山びこ」または「こだま」と呼びます。

今日は、詩をひとつ紹介します。金子みすゞさんという人が書いた詩です。

こだまでしょうか

金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで
さみしくなって、

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

山に行かなくても、言葉はこだまのようにかえってきます。教室で勉強しているとき、校庭で遊んでいるとき、学校の行き帰り、…。
あなたの言葉はあなたに返ってきます。
やさしく話しかければやさしく

言葉は言霊（ことだま）といって使う人の気持ち、心、魂が込められます。言葉は、もう一人の自分なのです。

もっと優しいあなたになるために、赤堀東小がこれからも笑顔いっぱいの学校であるために、まずはあなたの言葉に耳を傾けましょう。あなたの口からでるのはどんな言葉でしょうか。

「自分の言葉を聞く」、そこから赤堀東小の学校の人権学習をスタートします。

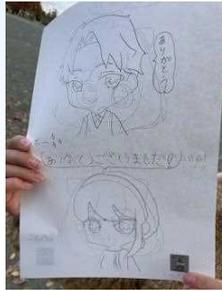
昨年の校長講話も「言葉」について話しました。「悪い言葉・いやな言葉を知っていることが悪いのではありません。使わなければいいのです。」そんな内容でした。

先日、ある保護者の方と子どもの言葉遣いについて話をする機会がありました。「自分たちの子どものころにも悪い言葉はあったけど、近頃の子どもたちが何気なく使う言葉に驚いたり、苦しくなったりすることがある」とおっしゃっていました。同感です。今年の人権学習校長講話も、また、「言葉」について話したいとそのとき思いました。

この詩は東日本大震災の後、テレビのcmでも流れていた詩なので、ご存じの方も多と思います。人権学習はきっかけです。ご家庭の協力を得ながら、日常生活の中で深めていきたいと思えます。子どもも大人も自分の言葉に耳を傾ける、そんな人権週間にしたいです。

自分たちの学校をきれいに

正義の味方大使レインボーが中心となって、校庭の落ち葉集めをしてくださいました。夏はずしい木陰をつくる木々もこの時期はたくさんの葉を落とします。労務技士さんも一生懸命掃除をしてくださいました。毎日集める落ち葉はたいへんな量です。そこで、われらが正義の味方大使レインボーの登場です。よく見ると、いろんな学年の子どもたちが手伝っています。大きな袋がいっぱいになりました。皆さん、どうもありがとう！



みんなでいっしょに夢中になって働かって気持ちのいいものです。

参加者にはイラストが配られました。

寒さに負けるな ポカポカウィーク



いよいよ寒くなってきました。ジャンパーや手袋など温かい服装で登校する子も増えてきました。そんな中、体育委員会が子どもたちが校庭で元気よく遊べるようにと楽しい遊びを企画してくれました。名付けて「ポカポカウィーク」です。

①クイズ逃走中②アメリカンドッジボール③スポーツ輪投げ（写真左から）の3つの遊びの中から好きなものに参加できます。運動が苦手な子も楽しめるように工夫がいっぱいです。



輪投げが3つ入ったらこんなかわいいプレゼントがもらえました。参加する子のことを思って描いてくれたのでしよう。

冬休みです。

地域の皆様の日頃のご理解ご協力ありがとうございます。12月24日～1月9日の間、学校は冬休みです。コロナやインフルエンザなどまだまだ心配なことはありますが、皆様もどうかお元気で良いお年をお迎えください。